

環境調査結果のお知らせ

平成22年11月4日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年11月4日午前9時から、浦ノ内湾の調査をしましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、透明度5~6m、水温21~22℃、塩分32~33、溶存酸素濃度5~6mg/lでした。プランクトン量は少なめでしたが、有害種のヘテロシグマ・アカシオが僅かに確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は21.4~22.3℃、塩分は32.3~33.0でした。鉛直混合しており、表層から底層にかけてほぼ均質な環境になっていました。また、前回調査時(H22.10.20)と比較して水温は急速に低下しており、前年同時期と同程度になっていました。

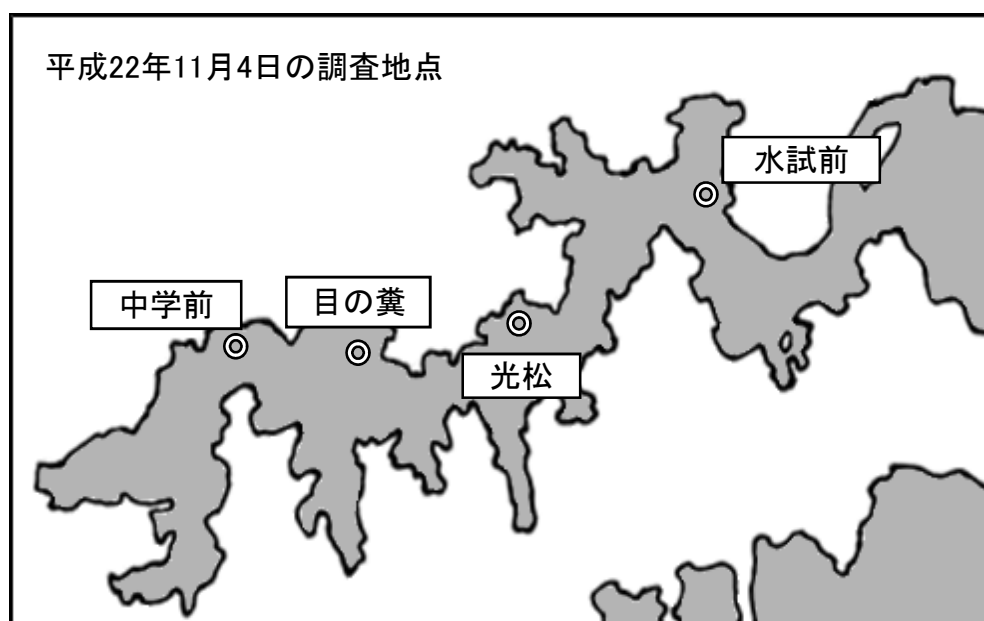
溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は5.38~6.24mg/lでした。鉛直混合により、湾奥底層の貧酸素水塊は解消していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は前回調査時よりも改善し、5.0~6.0mになっていました。プランクトン量は少なめでしたが、有害種のヘテロシグマ・アカシオが0~8cells/ml確認されました。

有害種の出現はごく僅かでしたが、海の状態や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.10.20)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	21.4	21.5	21.7	21.5	21.6	25.7	▲ 4.1
2m	21.6	21.8	22.0	21.9	21.9	25.8	▲ 3.9
5m	21.7	21.9	22.0	22.0	22.0	26.2	▲ 4.3
10m	21.7	21.9	22.1	-	22.0	25.9	▲ 3.9
B-1m	21.8	21.9	22.3	22.0	22.1	25.7	▲ 3.6

※ 目の糞・光松の平均値

表2 塩分

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.10.20)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.4	32.6	32.6	33.0	32.6	31.8	0.9
2m	32.3	32.5	32.5	32.7	32.5	31.8	0.8
5m	32.3	32.4	32.5	32.7	32.5	32.1	0.4
10m	32.3	32.4	32.5	-	32.5	32.2	0.3
B-1m	32.4	32.4	32.7	32.7	32.6	32.4	0.2

※ 目の糞・光松の平均値

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.10.20)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	5.69	5.99	6.24	5.95	6.12	6.40	▲ 0.28
2m	5.57	5.96	5.83	5.93	5.90	5.78	0.12
5m	5.61	5.89	5.82	5.91	5.86	3.60	2.26
10m	5.55	5.77	5.60	-	5.69	4.00	1.69
B-1m	5.54	5.73	5.38	5.89	5.56	4.07	1.49

※ 目の糞・光松の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前
水深	12.2	15.4	17.0	9.5
透明度	5.0	6.0	5.5	5.0
前回透明度	3.2	4.2	4.3	4.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	メソディニウム・ルブラム	ジャイロディニウム・ドミナンス	ジャイロディニウム・スピラレ	プロロセントラム・シグモイデス
中学前	0m	4	2	8	0	2
	2m	8	2	2	0	0
	5m	8	0	2	8	0
目の糞	0m	4	10	6	0	0
	2m	0	2	2	6	0
	5m	0	4	2	0	0
光松	0m	4	0	2	0	0
	2m	4	2	6	0	0
	5m	0	2	6	4	0
水試前	0m	6	0	4	4	0
	2m	4	0	0	0	0
	5m	2	0	0	6	0